# Javascript 01





### 本日の内容

講義 + 作業: 2.5 h程度 演習: 1.5 h程度



### アジェンダ

- ■javascriptの役割,できること,概要
- ■変数
- ■条件分岐(if文)
- ■ランダム関数(Math)
- **■**jQuery
- ■おみくじアプリ演習
- ■課題発表→チュータリング(演習)タイム
- ■写経のススメ(?)



### 授業のルール

- ■授業中は常にエディタを起動!
- ■隣の人と相談するときは周りの迷惑にならない大きさで.
- ■周りで困ってそうな人がいたらおしえてあげましょう!
- ■まずは**打ち間違い**を疑おう!

```
{}'";など
```

■書いたら保存しよう!

```
command + s
```

$$ctrl + s$$

## javascript概要



### javascript概要

- ■html(マスター済み)
  - コンテンツの指定
  - タイトル、文章、画像などの記述
- ■css(マスター済み)
  - コンテンツの装飾
  - 色, 大きさ, 配置などの指定
- **■**javascript
  - ・ユーザー操作、イベント発生による動きを実現



## javascript基礎



### javascriptを記述!

- ■書き方
  - <script></script>の間に処理を記述
- ■どこに書くの??
  - htmlファイルの</body>のすぐ上に書こう!
  - ほかにもいくつか書ける場所があります.
  - 別にファイルを作るやり方もあります.

```
<!doctype html>
<html lang="ja">
<head>.....</head>
<body>
  <h1 id="echo">js練習</h1>
  <script>
    //ここに記述!
  </script>
</body>
</html>
```

<script>は</body>のすぐ上! ほかのhtmlより下に書こう!



```
■alert();
   <script>
      alert("Hello world"); //文字列を「"」で括る. 「'」でもOK
   </script>
■console.log(); 検証ツール→consoleで確認!
   <script>
      console.log("Hello world");
   </script>
```

※ //でコメントアウトできます(実行しないようにします)



### 変数

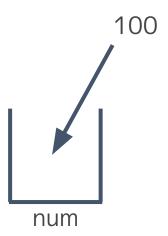


### 変数とは??

### js\_practice.html

- ■変数
  - 文字列や数値を入れる箱のことです!
- ■例

```
<script>
  let name1 = "hello";
  let name2 = "world";
  let num = 100;
</script>
```



「=」は「等しい」ではない 「numに100を代入」の意味



#### const

- 上書きできない変数const a = 10;a = 20; //エラーになります!

#### ■let

- 上書きできる変数(上の例で実行可能)

#### var

- やや古い書き方(はじめは全部varでもOK!)

- ■NGパターン
  - 「"」「'」の混在
  - 変数名の先頭が数字
- ■まずいですよ先輩!

```
<script>
  let name = "hello';
  let name2 = world;
  let 1num = 100;
</script>
```

### 配列



- ■配列
  - 複数の値に順番をつけてまとめて扱う方法.
  - 順番を「インデックス」と呼ぶ. 「O」からスタート!
- ■例

```
<script>
const arr = ["大吉", "中吉", "小吉", "凶", "大凶"];
</script>
```

■インデックス alert(arr[0]); //大吉



### 演算子と計算

#### ■演算子

```
- 「+」とか「-」のこと.
 <script>
     let sum1 = 1 + 9; //10
     let sum2 = 1 - 5; //-4
     let sum3 = 2 * 4; //8
     let sum4 = 10 / 2; //5
     let sum5 = 10 \% 3; //1
 </script>
```

### ■数値や文字列の計算

```
<script>
    let name1 = "hello";
    let name2 = "world";
    let num1 = 100;
    let num2 = 200;
    let sum1 = name1 + name2;
                                   //helloworld
    let sum2 = num1 + num2;
                                   //300
</script>
```

### 使用できない単語

- ■変数名には使用できない単語が存在する
  - 構文で使用するもの、将来的に使われるもの、など
- ■予約語とキーワード
  - 「MDN javascript 予約語」で検索!!



### 条件分歧



条件分歧

if.html

■条件分岐処理

```
<script>
  if(条件式){
     条件式を満たす場合の処理
  else{
     条件式を満たさない場合の処理
</script>
```

条件分岐 if.html

■条件分歧処理(複数条件)

```
<script>
  if(条件式1){
     条件式1を満たす場合の処理
  else if(条件式2){
     条件式1と満たさなくて条件式2を満たす場合の処理
</script>
```



■条件式の書き方(比較演算子)

```
<script>
   const val = 10;
   if(val == 10){
       alert(値は10です!);
   else{
</script>
```

条件分岐

### ■比較演算子の種類

== 等しければtrue

!= 等しくなければtrue

> 左側のほうが大きければtrue

< 右側のほうが大きければtrue

>= 左側が右側以上ならtrue

<= 右側が左側以上ならtrue

if.html

条件分岐 if.html

■条件分岐·問題

```
const a = 1;
const b = "福岡";
if(条件式1){ //aが1以上の場合
  alert("1以上です!");
if(条件式2){ //bに"福岡"が代入されていない場合
   alert("福岡ではない!");
```



条件分岐 if.html

■条件の組み合わせ

```
const val = 10;
if(val >= 5 && val <= 15){ //valが5-15の数値であればtrue
   111
if(val == 5 || val == 10){
                            //valが5か10であればtrue
   111
```

### Mathオブジェクト



■Mathオブジェクトとは?? 数値関連の関数がたくさん含まれる.よく使用するのは乱数生成.

■Math.random

const num = Math.random();

alert(num); //0から1の間でランダムな値が表示される.

■Math.floor 端数を切り捨てする関数 const num = Math.floor(Math.random() \* 5) alert(num); //0から4までのどれかが表示される! ■範囲を決めてみよう

```
const num1 = Math.floor(Math.random() * ○○);
alert(num1);  //0から○○までのどれかが表示される!
const num2 = Math.floor(Math.random() * ○○ + 1);
alert(num2);  //1から○○までのどれかが表示される!
```

- ■ポイント
  - サンプルで動かしたらそのまま使おう!!
  - 最小値と最大値を決めて表示する処理も作ってみよう!

### ■練習

以下の数をランダムで発生させてalert();で表示させよう!

- ①0から9
- ②1から9
- ③5から10
- **④50から99**

# 演習①

演習:おみくじアプリ作成①

omikuji01.html

- ■仕様
  - ランダムに「大吉・中吉・小吉・凶・大凶」をalert()で表示!
- ■ヒント
  - Math関数で0から4を発生させ、出た数値に応じてalert();で出力!

### DOM (復習)



#### HTML = document

### htmlに記述されている各要素のこと(document object modelでググろう)



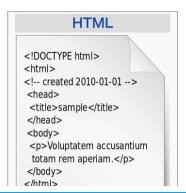
### Document Object Model

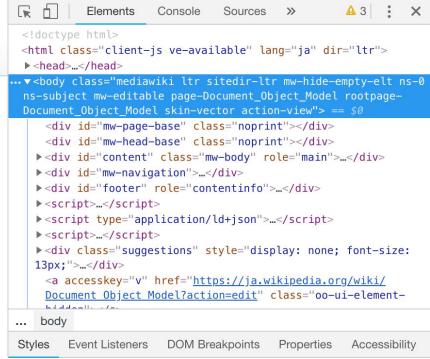
出典: フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』

**Document Object Model (DOM)** は、HTML 文書やXML文書を各種プログラムから利用する ための仕組みである<sup>[1]</sup>。WHATWGがLiving Standardとして定義している。

WHATWG以前はW3Cが仕様を策定しており、 Level 1からLevel 4まで勧告している。

XMLを読み込むAPIであるSAXと異なり、XML







# jQueryの基本(復習)



■特徴

セレクタ → イベント メソッド どこを → どのタイミングで → どうする ■例(基本の形はだいたいこれです!) idが「email」の要素をクリックしたら記述内容を「gs@gs.com」に変更 **\$('#email')**.on('click', function(){ \$('#email').text('gs@gs.com'); });



セレクタ → イベント → メソッド

どこを → どのタイミングで → どうする

【参考】http://www.hp-stylelink.com/news/2013/11/20131122.php



#### セレクタ

■cssで設定するときと同様

```
#id \rightarrow $('#id')

.class \rightarrow $('.class')

Element \rightarrow $('Element')

[name=a] \rightarrow $('[name=a]')
```

- ※「#id」などは「"」か「'」で囲む!
- ※どちらを使っても良いが統一しよう!!



### セレクタ

■参考(まだまだあります..!)

複数指定 → \$('div, p, a')

親子関係 → \$('div > p')

先祖子孫 → \$('div p')

最初の要素 → \$('li:first')

奇数の要素 → \$('li:odd')

偶数の要素 → \$('li:even')

セレクタ → イベント → メソッド

どこを → どのタイミングで → どうする

#### イベント

### ■例

```
クリックしたときにfunction(){}の中を実行する!
$('#id').on('click', function(){
$('セレクタ').css('color', 'red');
$('セレクタ').append('12345');
});
```

※「click」部分をほかのものに変更することでイベントを指定できます! 'click', 'dbclick', 'mouseout', 'mousedown', 'mouseup', 'change', 'focus', 'submit', 'resize', 'scroll', 'keydown', 'keyup', ...



セレクタ → イベント → メソッド

どこを → どのタイミングで → どうする

## メソッド(=命令)

#### ■例

```
var elem = '<a href="#">次ページ</a>';
$('#id').html(elem);
                         //htmlを表示
                         //文字列として表示
$('#id').text(elem);
$('#id').css('color', 'red');
                         //cssを適用
                         //非表示→表示(逆はhide)
$('#id').show(4000);
$('#id').prepend(elem);
                         //先頭にhtmlを追加
$('#id').append(elem);
                         //末尾にhtmlを追加
$('#id')empty();
                         //子要素を削除
```



## もう一度まとめ



■特徴

セレクタ → イベント メソッド どこを → どのタイミングで → どうする ■例(基本の形はだいたいこれです!) idが「email」の要素をクリックしたら記述内容を「gs@gs.com」に変更 **\$('#email')**.on('click', function(){ \$('#email').text('gs@gs.com'); });



## まずは形を入力することに慣れよう!

```
$('#id名').on('click', function(){ ...
});
```



## (口に出しながら書くと定着する)

だら一あいでぃーおんくりっくふぁんく しょんかっこかっこ...



## 演習②

## 演習:おみくじアプリ作成②

#### ■仕様

- おみくじボタンをクリックしたら以下のどれかを表示!
- 「大吉・中吉・小吉・凶・大凶」

#### ■記述例

- ボタン押したときの動作 \$('#btn').on('click', function(){......});
- 表示 \$('#id名').html('大吉');

## 課題



janken.html

- ■じゃんけんアプリの仕様
  - ①「グー」「チョキ」「パー」のボタンを設置
  - ②どれかをクリックしたら「コンピュータの出した手は?」を変更「コンピュータ:グー」「コンピュータ:チョキ」など
  - ③「結果は?」の箇所に 「あなたの負け」「あなたの勝ち」「あいこ」のどれかを表示!
- ※上記を最低ラインとして製作
- ※これを土台にしてガンガン発展させよう!!

## 提出は毎週木曜日「23:59:59」まで!! 詳細は別資料参照!



# 課題ができねえええ (`; ω; ´)

詰んだ... どうしようもない... という方は



# 与分経

※写経とは

誰かが書いた動作するコードをひたすら書き写すこと



```
<!DOCTYPE html>
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="UTF-8">
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
<meta http-equiv="X-UA-Compatible" content="ie=edge">
<link rel="stylesheet" href="css/sample.css">
<title>じゃんけん</title>
</head>
<body>
   <header>
<h1>じゃんけん</h1>
</header>
```



```
<body>
  <header>
 <h1>じゃんけん</h1>
 </header>
 <main>
 <l
 ! id="qu_btn">グー
 id="cho_btn">チョキ
20
 パー
22 
 | com_hand">コンピュータの出した手は?</div>
24
 </main>
 <footer>フッター</footer>
28
```

**FUKUOKA** 

```
const result = ['//-', '/+=+', '//-'];
34
  $('#gu_btn').on('click', function () {
  ----//-自分の手はグー
  let rand = Math.floor(Math.random() * 3);
36
  37
  *('#com_hand').text('コンピュータの手:' + result[rand]);
  if (rand == 0) {
 $('#judgment').text('あいこ');
  } else if (rand == 1) {
  $('#judgment').text('勝ち');
43
 } else {
 $('#judgment').text('負け');
47 });
```

<script src="https://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/3.2.1/jquery.min.js"></script>

30

<script>

\$(function () {

```
$('#cho_btn').on('click', function () {
  | 自分の手はチョキ
  let rand = Math.floor(Math.random() * 3);
  52
  ・・・・・・・・・・・//・コンピュータの手を表示
  $('#com_hand').text('コンピュータの手:' + result[rand]);
  if (rand == 0) {
 $('#judgment').text('負け');
  \} else if (rand == 1) {
58
  $('#judgment').text('あいこ');
  } else {
  $('#judgment').text('勝ち');
62
 });
63
```



```
$('#par_btn').on('click', function () {
  ----// 自分の手はチョキ
  let rand = Math.floor(Math.random() * 3);
  67
  // コンピュータの手を表示
 $('#com_hand').text('コンピュータの手:' + result[rand]);
70 if (rand == 0) {
  $('#judgment').text('勝ち');
 } else if (rand == 1) {
72
 $('#judgment').text('負け');
  } else {
75 $('#judgment').text('あいこ');
76 }
77 });
78
80
 </script>
81
82
  </body>
83
  </html>
84
```

「写経」これでいける!!提出は次回授業まで!!

## チュータリングタイム

17:00までは一人でもくもく 後半は近くのメンバーで教え合おう!

